

健康フレフレ ますますだ新聞 2023年 1月号

こんにちは！ナーシングホーム野里です♪

12月はクリスマス季節です。当施設でもクリスマス会が開かれました。職員による催し物やサンタさんによるプレゼント、そのあとは美味しい、見た目も可愛いクリスマススイーツをみんなでいただきました。皆さん大満足されよかった、楽しかったといっていました。



またクリスマスの前に、こども園長橋様より手作りクリスマスリースとお遊戯会のBlu-rayディスクを贈呈いただきました。

クリスマスリースはさっそく施設内に飾らせていただきました。Blu-rayディスクも後日鑑賞会を予定しています。素敵なクリスマスプレゼントをありがとうございました！



(ナーシングホーム野里 小鹿)

お知らせ

水曜日(午後)呼吸器外来
 1月 4日 牧口友紀医師
 1月11日 田中寿志医師
 1月18日 当麻景章たいま医師
 1月25日 田中寿志医師

土曜日(午前)呼吸器外来
 1月 7日 牧口友紀医師
 1月14日 当麻景章医師
 1月21日 田中寿志医師
 1月28日 石岡圭子医師

広報部より
 五所川原市内でも新型コロナウイルスの感染が多数確認されています。基本的な感染対策を継続しましょう。
 (編集 大橋)

関節リウマチ

手足の関節が侵され関節痛や関節の変形が生じる膠原病の一つであり、自分の体が自分自身を攻撃する自己免疫が原因と考えられています。以前は慢性関節リウマチと呼ばれていましたが、現在は単に関節リウマチと言います。似た様な名前の病気にリウマチ熱というのがありますが、これは溶血性連鎖球菌の感染によるもので発熱と関節痛、関節炎を起こしますが、ペニシリンの投与により治癒しますので関節リウマチとは異なる病気です。関節リウマチの症状は関節炎、厳密に言うとは関節の内腔を覆っている滑膜の炎症です。初期には「朝のこわばり」という症状が特徴です。次第に手指の関節痛、関節炎が起こるようになり、進行すると関節が破壊され、変形してしまいます（スワンネック変形）。また全身症状を呈することも珍しくありません。診断はこの症状があれば関節リウマチということではなく、一般的には1987年に発表されたアメリカリウマチ学会の分類基準が広く使われています。1)朝の強張り2)多関節炎3)手の関節の腫れ4)対称性の関節の腫れ5)リウマチ結節6)リウマトイド因子陽性7)レントゲン検査で典型的な関節初見の7項目のうち3項目が該当すれば関節リウマチと診断して良いとされています。また、リウマトイド因子や抗CCP抗体は特異性が高いといわれています。治療はメトトレキサートという抗がん剤が第一選択とされている他、近年はTNF α 阻害薬など各種サイトカイン（生物学的活性因子）に対する抗体が使用され効果を上げています。ただ、完全に治すことは困難ですが、早期から治療を始めると薬をやめても再発しない例もちらほら出て来ております。



関節リウマチ患者に見られるスワンネック変形
（「白鳥の首」状変形）

（内科医師 山辺英彰）